



本年度も各単位PTA並びに都道府県、各地区のPTA活動にご参加、ご協力頂きまして誠に有難うございます。この全国高P連会報は本号にて第101号となりました。途絶えることなく会報を発行できておりますことに合わせて感謝申上げます。

私は今期より文部科学大臣より中央教育審議会委員（以下、中教審）に任命され、国の教育行政に直接意見述べる立場を頂戴しました。その役割は私立・公立高校の無償化、首都圏と地方の格差、大学受験制度、奨学金制度、コミュニティースクール、先生方の働き方改革など、多岐に渡りながらも早急に解決していかなければならぬ重要な課題に対し、高等学校のPTAを代表して意見や想いを反映できる役割であり貴重なものです。

会員の皆様には私の任期中と限られた時間とはなりますが大いに活用頂きたいと思います。

中教審のメンバーとなつて感じたのは、各分野の専門家が忙しい中、毎月に2～3度集まり真剣に議論を重ね、国や行政政治家もそれらに真剣に応える会議であり、子ども達の未来を想い、制度、ルールづくりが行われる仕組みで、中教審からの意見がダイレクトに法律化されていることでした。

最近は個人の意見や考えを主張しやすく、SNSを使って広く賛同者を得て出たり、やり方によつては世論を動かすほどのインパクトを与えることも出来ます。

皆が参加しやすく、皆が幸せになれる新たなPTAの歴史を共に築いてまいりましょう。

今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。



ご挨拶

一般社団法人 全国高等学校PTA連合会 会長 田名部 智之

会員の皆様には私の任期中と限られた時間とはなりますが大いに活用頂きたいと思います。

一人ひとり、そして単位PTAは小さなチカラですが県、地区、全国

PTAの想いを結集する

と物凄いチカラとなります。全国の学校・PTA・生徒達が益々活動（行動）しやすい環境を整え、導いていく事こそ、スケールメリットを持つ我々全国組織としての責務だと思つております。

がまだまだ影響力があるという事です。PTAに対し心無い発言をする方もいるでしょうが、自信と誇りをもつて楽しく活動してください。

PTA連合会報でもご覧になれます。

URL:<http://www.zenkouren.org/>

今号の主な内容

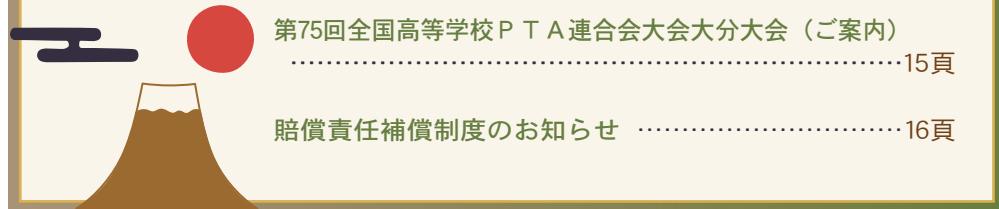
会長挨拶 1 頁

第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会報告 2～5 頁

地区トピックス 6～14 頁
北海道地区／東北地区／関東地区／北信越地区／
東海地区／近畿地区／中国四国地区／九州地区

第75回全国高等学校PTA連合会大会大分大会（ご案内） 15 頁

賠償責任補償制度のお知らせ 16 頁





第74回全国高等学校PTA連合会大会

2025三重大会を振り返って

令和7年8月21日(木)～22日(金)の2日間にわたり、第74回全国高等学校PTA連合会大会が津市2025三重大会が津市

産業・スポーツセンターにおいて開催されました。久しぶりに事実上1か所での開催となり、全国から5500名を超えて

る参加申込をいただきました。なお、今大会はオンラインについては、LIVE配信を行わず開催後のアーカイブ配信のみとさせていただきまして、240校から申込をいただき、従来を大きく上回る会員の皆さんにご覧いただきました。

大会テーマは、「出会いはじまる常若のくに『集い、想い、継ぎ』三つの重なる明日への力」としました。サブテーマに「三重」をあしらいつつ、時代や社会、そしてPTA自体も大きく変容していく中で、三重の地に会員が集まり、知恵をしぶり、将来を担う子どもたちに明るい希望を託すことを祈念する大会としたとを考えました。



葉泰幸津市長から

高等学校PTA連合会 主管/三重県高等学校PTA連合会



全国高P連表彰

大会1日目 8月21日(木)
【全体会(開会式・表彰式)】13時30分～14時25分
会場・日硝ハイウェー

アリーナ・メインアリーナ(LIVE配信)

四日市商業高校ギターマンドリン部歓迎アトラクション演奏の後、13時30分に全体会(開会式・表彰式)で大会が幕を開けました。小野喜照

武部新 文部科学副大臣



田名部智之 全国高P連会長



前葉泰幸 津市長



一見勝之 三重県知事





【分科会】8月21日(木)
14時45分～16時45分
会員会終了後、4会場

出会い はじまる 常若のくに

第1分科会 (メッセウイ
ングNHW 展示場A)
参加者945名
領域 子育て・親育て
テーマ 「子育て、そし
て親育ち」～言葉の力

祝辞をいただきました。
表彰式では、優良PTA
文部科学大臣表彰27團
体、続いて、全国高P連
会長表彰（個人73名、団
体78団体、役員42名）が
行われ、松下妙子全国高
P連前副会長が受賞者
を代表して謝辞を述べ
られました。そして最後
に昨年度大会主管の茨
城県高等学校PTA連
合会及び板倉哲男実行
委員長に特別感謝状が
贈られました。

会長表彰（個人73名、団
体78団体、役員42名）が
行われ、松下妙子全国高
P連前副会長が受賞者
を代表して謝辞を述べ
られました。そして最後
に昨年度大会主管の茨
城県高等学校PTA連
合会及び板倉哲男実行
委員長に特別感謝状が
贈られました。

に分かれて分科会を開催
しました。今回は会場の
都合により、分科会で
ワークショップやグルー
プディスカッション等直
接の交流や意見交換の場
が設定できませんでした
が、各分科会講演と質疑
応答、パネルディスカッ
ション等行う中で参加者
も参加できる工夫をして
もらいました。

子どもの人権に長く取
り組んできた経験から、
子どもと親との関係づく
りに問題を指摘され、親
として大切にしていかね
ばならないことを提示し
てもらいました。子ども
たちは「きちんと話を
聞いてもらえない」、「意
思を確認されていない」
「意見を聞かれていない」
といった不満を

感じている。「意
見表出」ができる
人にしていく
ことが大切。「自
我を放棄した良
い子」ではだめ。
「あなたはどう
考えるの？」
と尋ねてあげ
ると、子どもに主體性
を育む（子ども
の言いなりにな
るということで
はない）。赤ちゃ
ん

を磨き、子どもの心の
声を聴こう

等、流ちようで雄弁な語
りもあり気づきの多い時
間となりました。

ランス＝受信と発信のバ
ランスをとること、そし
て、意識の方向をはつき
りさせ集中することが、
能力アップにつながり、
一層の成長へとつながる
ことが、第2分科会の責
任者でもある四日市高校
の諸岡校長先生をフル活
用した実験・実演を交え
て楽しく語られました。

第2分科会 (メッセウイ
ングNHW 展示場C)
参加者963名
領域 学校・教育
テーマ 実力発揮のコツ
～無名公立校2校を甲
子園に導いた元監督が
伝授！～

ミニパネルディスカッ
ションは「学校で育みた
い力」をテーマのもと、
講師もアドバイザーに迎
えて元高校PTA会長、
講師松葉さんの教え子で
の大学生の3名のパネリ
ストと意見交換がなさ
れ、安心して挑戦できる
環境や大人がその姿で示
すことが重要であること
等が紹介されました。

基調講演では、実力発
揮＝実力（100%）／
心の抵抗×身体の抵抗
(良い状態＝1) という
実力発揮の公式が示され
ました。今回は時間の都
合もあり、「心の抵抗を
なくす方法」を中心にお
話いただきました。心の
抵抗をなくす＝心の成
長を促すために、知性（分
析）＝感情（楽しい）
＝意欲（知りたい）の

領域 進路・キャリア
テーマ AI時代における
Well-Beingなキャ
リアデザイン

講演I
「子どもの人権」
講師：田部眞樹子さん
(三重県子どもNPO
サポートセンター
理事長)

講演II
「想いを繋げるコミュニケーション」
講師：岩崎由純さん (ト
レーナーズスクエア
役社長)

基調講演・ミニディス
カッショニン
テーマ 実力発揮のコツ
講師：松葉健司さん (次
世代リーダー育成会
代表)

講師もアドバイザーに迎
えて元高校PTA会長、
講師松葉さんの教え子で
の大学生の3名のパネリ
ストと意見交換がなさ
れ、安心して挑戦できる
環境や大人がその姿で示
すことが重要であること
等が紹介されました。

ペップトーク＝「他者の
心を最適化する言葉が
け」。短くて、分かりや
すくて、肯定的な言葉を
使い、人の魂を揺さぶ
り、その気にさせるト
ク。WBCでの大谷翔平
選手の「憧れるのをやめ
ましよう…」が良い例！

難しいやりがいがあ
る、頑固＝信念があつ
てぶれない、苦手なこと
など「とらえ方変換」
負けるな＝勝つことだ
け考えていきましょう、
遅刻するな＝時間を使
う、「してほしい変換」
あること、また、心のバ

基調講演では、実力発
揮＝実力（100%）／
心の抵抗×身体の抵抗
(良い状態＝1) という
実力発揮の公式が示され
ました。今回は時間の都
合もあり、「心の抵抗を
なくす方法」を中心にお
話いただきました。心の
抵抗をなくす＝心の成
長を促すために、知性（分
析）＝感情（楽しい）
＝意欲（知りたい）の

領域 進路・キャリア
テーマ AI時代における
Well-Beingなキャ
リアデザイン

講演III
「実力発揮のコツ」
講師：松葉健司さん (次
世代リーダー育成会
代表)

講師もアドバイザーに迎
えて元高校PTA会長、
講師松葉さんの教え子で
の大学生の3名のパネリ
ストと意見交換がなさ
れ、安心して挑戦できる
環境や大人がその姿で示
すことが重要であること
等が紹介されました。

講演IV
「実力発揮のコツ」
講師：松葉健司さん (次
世代リーダー育成会
代表)



第3分科会 パネルディスカッション

～青春期における感情～
感動体験の重要性～
基調講演・パネルディスカッション
「A-I時代におけるWell-Beingなキャリアデザイン」～青春期における感情・感動体験の重要性～

講師…國友尚さん
(アソビジョン株式会社代表取締役)

講演では、Well-Being～「身体的・精神的・社会的に良好な状態」と紹介され、参加者全員へのWell-Being度簡易測定を交えて現代のA-I時代での生き方へのヒントが示されました。また、国際的な調査によると、日本の子どもは勉強はできるが自立や社会的責任という面では極めて意識が低い

く、大人も熱意をもつて仕事をしていないといつた結果に対し、学び方や生き方への考え方へのヒントもいただきました。子どもに自立と熱意を育むための一提案として、日本が得意とする映像・音楽・アニメ・ゲーム・テーマパーク等の分野にも拡大すると子どもたちの感情を引き出せるのではないかと提案がありました。最後に、子どもも大人も「ココロ、オドルほうで」といろんなことに挑戦し感動のある生き方を、としめくられました。

伊勢丹の北川支店長、

キッザニアの宮本副社長

を招いてのパネルディス

カッショニンでは、「A-I時

代についての考察」「進路

キャリアについての考察」

「子どもたちのために大

人ができること」の3つの

テーマが扱われました。

パネリスト自身の育ちや子育て経験、また、現在の職業との関連での経験について非常に深く有意義な意見交換がされ、様々なヒントや示唆に富

ました。

～W h y を

つまり「な

い」を「ど

うしたらで

きる」等を

推奨し、そ

のためには

楽しいP T

Aを作ると

悟」が必要

で、「私得

力（じとく

りょく）

「除身力（よ

けみりよ

く）」など

独特の處世

術を伝授してもらいまし

た。P T Aには5つの得

から更にパワーアップ！

参加者の皆様はヒーロー

ヒロイン、一般の会員の

皆さんをいかに巻き込む

かが課題ですが、「楽し

そうなP T Aを作ればいい！」とシンプルに言つてもらいました。「P T Aは親塾」「人材の宝庫

」があり、人間力がアップ

します。

講演後にミニディス

カッショニンがあり、会場

からの質問にレモンさん

に回答してもらいました。

その時間も含めてレモン

～W h y を

つまり「な

い」を「ど

うしたらで

きる」等を

推奨し、そ

のためには

楽しいP T

Aを作ると

悟」が必要

で、「私得

力（じとく

りょく）

「除身力（よ

けみりよ

く）」など

独特の處世

術を伝授してもらいまし

た。P T Aには5つの得

から更にパワーアップ！

参加者の皆様はヒーロー

ヒロイン、一般の会員の

皆さんをいかに巻き込む

かが課題ですが、「楽し

そうなP T Aを作ればいい！」とシンプルに言つてもらいました。「P T Aは親塾」「人材の宝庫

」があり、人間力がアップ



中島伸子 氏による記念講演

自らの波乱万丈の体験に基づく人生、井村屋でのアルバイト入社から経営トップに立つまでの体験、トップとして大切にしていること、そして最後に子育ての中での体験談など入念に準備をいたいた講演で、様々な示唆に富むお話をいただきました。

記念講演後には閉会式が行われ、大会旗が大分県の和田実行委員長へ引き継がれました。

今回は多くの出会いや学びがあつたことに加え、1か所開催であつたこと、また、多くの高校生も物産販売等で参加してくれたこと等もあり、「賑わい、盛り上がり（熱量）」を感じられる大会となりました。参加いただいた皆様に厚く感謝を申し上げます。来年は別府の地でまたお会いしましょう！

大分県（次期開催地）挨拶



キッチンカーの様子



地区トピックス

北海道地区

北海道高等学校PTA連合会

逞しく育みあう函中生々

PTA 加盟校 242

色をもつ北海道において、学校・家庭・地域の結びつきはとても重要であり、互いに良さを分かち合いながら、各学校は地域づくりに貢献するとともに、特色ある学校づくりに取り組んでいます。今回は道南に位置して、創立130周年を迎えた歴史と伝統を誇る函

(2) 4月26日(土) 父母と
やりがいなどが熱く語られ、積極的な参加を呼びかけました。

本校の父母と教師の会は、学級委員会、母の会委員会、広報委員会で組織され、これらは別に親父の会や母の会委員会のOGで結成さ

す。この日は、学級・母の会・広報委員会がそれぞれ開催され、総会にお

や会計・行事等に関する説明が行われました。また、新しい役員も選出され、新会長が決意と抱負を述べました。

(3) 5月9日(金) 大沼田一
ドレース

伝統的に行われている
ロードレース。グリーン
ピア大沼の公園内を男子
8. 2km、女子6.1km
を全校生徒が走破します。
す。毎年、父母と教師の

(46年7月8日(土)～8日(日)第74回北海道高等学校PTA連合会大会道南大会
『新たな未来を創る子どもたちを支え育むために』今こそ求められるPTAの役割と学校・家庭・地域とのつながりについて、異国情緒あふれる街並み、美しい夜景が魅力の函館で大いに語り合いましょう』と銘を打ち、初日の全体会は函館市民会館にて、株式会社セコマ代表取締役会長丸谷智保氏を講師にお招きし、「心で考える経営」

父の会においては給水所を設営し、冷たい水と常温の水を用意し、走つてゐる生徒にどちらがいいか聞きながら、走る邪魔にならないよう水を渡す奮闘ぶりを見せてくれま
レニ。

会各委員会がチェックポイントでの健康観察や励ましの声かけ、活動の様子の記録などを行い、親

地域と共に」 という上演台でご講演をいただきま
した。二日目は、「P.T.
A活動」「進路指導」「生
徒指導」「地域連携」の
テーマごと函館市内4つ
の会場にて分科会を実施
し、講話に基づいた研究

動の記録、親父の会は野菜・ジュース・焼き物の販売等、生徒に負けず劣らず大いなる賑わいを見せていました。

▶北海道高P連道南大会で
講演をする 丸谷智保氏

(5) 7月4日(金)～6日
(日) 白楊祭(学校祭)
初日は、全15クラスの
パフォーマンス発表が千
代台陸上競技場を貸し
切つて行われ、約250
名もの保護者が観覧に訪
れました。二日目・三日
目は生徒達がクラス展示
や部活動展示等するな
ど、学級委員会は浴衣の
着付け、母の会は函館中
部高校オリジナルグッズ
の販売、広報委員会は力
メラを片手にひたすら活

A man with glasses and a suit is speaking into a microphone at a podium. He is smiling and looking towards the camera. The background is dark, and there is a vertical text overlay on the left side of the image.

130周年を迎へ、校庭のボプラ(白楊)の葉が色づき始めたころ、記念式典が体育館において関係者約900名を集め挙行されました。この記念事業に当たつては、2年前より「協賛会」が設立され、同窓会・父母と教師の会及び学校の万全な協力体制のもと準備を進めてきました。会場設営・受付・本校オリジナルグッズ販売等のお手伝いを行ない、式典前の函館市長大

A group of people in traditional red and black attire, including a man in a black cap, are gathered around a table with boxes, likely preparing for or participating in a traditional festival.

A group of people are gathered in a classroom or lecture hall. They are seated at long wooden tables, facing each other in small groups. Some are looking at papers or writing, while others are engaged in conversation. The room has large windows on the right side, and a chalkboard is visible in the background. The atmosphere appears to be a formal meeting or a classroom setting.

卒業生の前途洋々たる
門出を祝う場として、父
母と教師の会が中心と
なつて祝賀会を予定して
います。

(7) 11月29日(土)高校生と
語るつどい
函館中部高校を会場
後の祝賀会を含め恙なく
終えることができました。

加しました。全体で1,080名が参 加しました。

「見つけよう 個を生 かす時代の PTA活動 と一緒に探しませんか? 多様性の時代にできるこ とく」のテーマのもと、 令和7年7月1日(火)、 2日(水)、仙台サンプラザ ホールを会場に第74回 東北地区高等学校PTA連合会仙台大会が開催されました。県外から参加者573名、宮城県内から役員含めて507名、

▶開会行事



地区トピックス

東北地区

令和7年度東北地区高等学校PTA連合会『仙台大会』報告

宮城県高等学校PTA連合会

大会に先立ち、前日7月1日(火)夕方には情報交換会(レセプション)が開催され、東北各県から428名の参加者が集まり、それぞれのPTA活動への思いを語り合

い、大いに交流を深めました。恒例の鏡割りの他、宮城大学すずめ踊りサー

クル「娘すずめ」によるすずめ踊りがアトラクションとして披露され、参加者を大いに楽しませてくれました。

大会当日は、オープニングとして宮城県大河原

産業高等学校ギター部による華やかな演奏で幕を開け、続く開会行事では、

大会実行委員長の

瀧口愛美仙塩支 長の歓迎のこと ば、大会会長の稻 垣美樹宮城県高P 連会長、田名部智 之全国高P連会長 の挨拶に続き、東

うお話しに、多くの参加者から 素晴らしい講演 だつたとの感想 をいただきまし た。

やれる理由こそが着想 を生む「はやぶさ」、 「はやぶさ2」を完遂させた力」と題して行わ れ、たくさんの研究者・ 関係者によるたゆまぬ工 夫と努力そして諦めな

い持続力が大きな力を持つとい うお話しに、多くの参加者から 素晴らしい講演 だつたとの感想 をいただきまし た。

大会実行委員長の

北地区高P連表彰(表彰状・感謝状48名、広報紙コンクール表彰18校)が行われました。次の基調講演は、小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトで知られる現

オーストラリア国立大学教授川口淳一郎氏から、「やれる理由こそが着想を生む」「はやぶさ」、「はやぶさ2」を完遂させた力」と題して行われ、たくさんの研究者・関係者によるたゆまぬ工夫と努力そして諦めな

い持続力が大きな

午後のスタートでは、禍からの再出発・新たな取り組み」というテーマで発表を行いました。最後の閉会行事では、次年度開催となる秋田県からの挨拶があり、観光キャラクターとともに「来年は秋田でお待ちしております」の文字を掲げて来県アピールが行われ、次年度の再会を期して大会の幕を閉じました。



▶大河原産業高校ギター部



▶基調講演川口淳一郎氏



▶仙台育英学園高校チアリーディング部



▶研究協議

地区トピックス

関東地区

埼玉県高等学校PTA連合会

第71回関東地区高等学校「埼玉大会」報告

7月11日（金）・12日（土）、大宮ソニックシティにおいて標記大会を開催いたしました。今夏の記録的猛暑のなか、埼玉大会2日間だけは最高気温28℃という快適な天候に恵まれ、関東地区会員2000名が参加する盛大な大会となりました。本大会では、従来の大会運営を参考にしながらも、コンパクトな運営改善により、参加者および協力員の負担軽減をする大会運営を模索してまいりました。

主な改善点は以下の通りです。
①参加者への昼食弁当配付を廃し、参加費を値下げしました。受付・ゴミ回収等の業務軽減、参加費軽減のほか、食品ロス・食中毒の懸念排除、ゴミ削減にも効果的でした。②案内業務は会場周辺に限定し、駅からの案内は廃止しました。③ご

来賓数を精査し、来賓受付・誘導業務を軽減しました。④大会式典次第をスリム化し、式典時間を短縮しました。⑤大会前日準備はアルバイト等を活用し、PTA役員の負担を軽減しました。⑥協力員ユニフォームは「ビーブス」にしました。サイズ合わせ業務削減のほか、大会後も各校PTA活動での活用を期待しています。⑦分科会テーマを柔軟化し、各校独自の視点での実践発表を可能にしました。⑧約16ヶ月の準備期間に開催した実行委員会の開催回数を、例年の会議数+1回に抑えました。

また、より具体的な参加意識をもつて大会に臨んでいた、だくため、大会テーマを「対話を通し明るく、大会では、『P.T.A.自慢』と題して、P.T.A.の未来を再認識する以下の3つの企画を実施しました。

まず、第5分科会では「防災とPTA」に焦点をあて、講義「災害時、避難所となる学校で起きること」（講師・石巻西高等学校 元校長 斎藤幸男氏）を行いました。生徒・教職員・保護者・地域が、日常的に考え方を重ねておくべき多くの点を示唆していただき、大変好評でした。

次に、記念講演では「対話を終わらせないために」をテーマに、芥川賞受賞作家 九段理江氏にご講演いただきました。受賞作はA.I.を活用したことでも話題となりましたが、A.I.との対話も含め様々な視点からお話をいただきました。

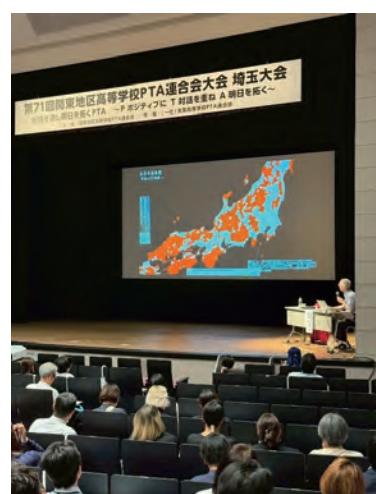
大会中は、参加者の皆さまから多くの温かいお言葉を頂戴し、主管県の埼玉県連スタッフ一同、心から感謝申し上げます。本大会における情報共有や交流等を通して、各校PTA活動がますます充実し、「学校教育の充実の支援」と「生徒の安全環境の整備」がますます深まることを祈念しています。



『3つのミッション』自作ポスター



大会を華やかに彩る大宮高校音楽部



第5分科会「防災とPTA」講義

た。「先生に『PTAがあつてよかつたこと』を聞いてみよう」「他県の方とお互いの『PTA自慢』してみよう」「今後PTAでやりたいこと、続けたいことなど『PTAの未来』について両隣の方と話そう」の3つのミッションを掲げ、参加者に対話を促すよう呼びかけられ、大会テーマをより具体的に感じていただくことができたと思います。

地区トピックス

北信越地区

新潟県高等学校PTA連合会

学校の特性を生かした PTA活動について（新潟県）

新潟県高等学校PTA連合会には、県内公立私立94校が加盟しています。各校それぞれが工夫した取組を行っていますが、今回は、その中から4校の活動の取組を紹介します。

三を回収しました。汗をかきながらの充実した表情で、生徒と保護者、職員が活動に取り組みました。PTA主催のこの活動を継続し、柏崎の美しい海岸を維持していくたいと思います。

したが、感染症予防と負担軽減のため数年前から仕入れ販売としました。調理室では食品を提供する3年生のクラスと一緒になるため、自然と会話も増えます。

令和5年度から地元の海岸を清掃し、SNSをとおして柏崎の海を県内外の人々にアピールするとともに、海岸清掃をとおして、環境問題や自身の進路などの意識を高めることを目的にビーチクリーニング活動を実施しています。

令和7年度は、7月12日（土）午前8時から生徒、保護者、職員等約90人が参加して、柏崎中央海水浴場を清掃しました。天候に恵まれ、1時間程度の活動でしたが、立木を含め多数のゴ

3 県立新潟江南高等学校
校PTA【生徒の豊かな心の育成のために】
進路指導資料の購入や
進学補習・講演会費用の
補助などを通し、生徒の
進路実現を支えるとともに
に、PTAとして高校の
体育祭や文化祭など学校
行事に参加したり、部活動
を支えたりといった活
動を行っています。本校
では「青葉祭」と呼ばれ
る体育祭では、ここ数年
の試みとしてPTAから

▶ PTAからの賞品を手に仲を深める江南生

4 県立長岡大手高等学校
校PTA 「済美」の精神を涵養するPTA活動

校訓「済美（せいび）」には、「人の役に立ち、社会に貢献する美しさを身につける」という意味が込められており、その理念は今も脈々と受け継がれています。

様々なPTA活動の中でも、学校のICT環境の整備支援にも積極的に

PTAから寄贈(27台)

A group of students in yellow shirts are posing together, holding up their PTA awards. They are outdoors on a grassy field. Some students are holding small boxes, while others are holding larger ones. They are all smiling and looking at the camera.

貢献しています。Wi-Fi環境の整備、プロジェクトターの導入などICT活用授業を支援し、デジタル化が進む教育現場を支えています。特に、県外企業や海外学校とのリモート交流など、新しい学びの形を後押ししています。このような貢献が評価され、令和3年(2021年)には、文部科学大臣より「優良PTA」として表彰されました。



研究協議（両校登表者）



講演に聞き入る参加者



PTA連合会では、地区大会当日の午前に各県役員による総会を開き、午後から大会を実施していきます。令和7年度の「静岡大会」は、6月27日（金）に静岡市清水文化会館マリナート大ホールで開催され、東海4県から858名が参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度の静岡大会は直前に中止となってしまったため、今回は9年ぶりの開催となりました。県高

P連本部役員と静岡地区・清水地区の公立高校PTA会員29名が協力し、大会の準備と運営にあたりました。

開会式では、東海地区高P連小野喜照副会長（三重県会長）の開会挨拶の後、住吉明会長（静岡県会長）と全国高P連の田名部智之会長が主催者挨拶を行い、来賓として静岡県教育委員会教育長の池上重弘氏、静岡県高等学校長協会会长の織田敦氏からご祝辞をいたしました。

校による研究協議が行われました。まず静岡県立浜松特別支援学校PTAが「サステナブルなPTA活動を目指して」をテーマに発表しました。学校の教育目標である「共生社会の中での、自らしく力強く生きる人を育てる」や、高等部での自立支援を目的とした作業学習の重要性が紹介されました。一方で、多様な学校行事による役員負担の軽減が長年の課題であつたため、保護者が無理なく参加できる取り組みとして、令和5年度か

り、様々な工夫が報告されました。

次に、岐阜県の学校法人松翠学園岐阜女子高等学校育友会が、「本校の育友会活動」と題して発表を行いました。学校の沿革や教育の特徴を説明した後、文化部による実演会、体育祭での飲料水配布、文化祭のバザー、エコキヤップ運動など、年間を通して多彩な活動に取り組んでいることが紹介されました。また、活動周知や連絡の迅速化を図るため、デジタル

るくて不安だから退職するケース、「タイプ重視」「横並び意識の強さ」など、若者が抱いている様々な思いや価値観を紹介してくれました。さらにこうした言動の背景には、日本社会の人口動態、経済、教育環境などの在り方変化があり、若者にとっても大人にとっても

子が伺えました。その後、金沢大学融合研究域融合科学系の金間大介教授による講演が行われました。演題は「素直でまじめで優秀、でも主体性がない—そんな『いい子症候群の若者たち』と共に前へ進むために」です。金間教授は、多様なデータや自身の体験を交え、現代の若者の特徴として、「自分の意見を言わない」「目立ちたくない」「平均的でいたい」などの傾向を紹介し、加えて、「安定志向の強さ」、「職場がゆ

もつと時間が欲しかつた
という意見が多く大変好
評でした。

最後に東海地区高P連
の鳥居春美副会長（愛知
県会長）が閉会挨拶を行
い、次年度は愛知県で東
海地区大会を開催するこ
とが報告され、静岡大会
は終了しました。

う強調されました。講演時間は「適切」または「短い」と回答し、「参考になつた」が「まあまあ」を含めて100%に達しました。参加者からは「現在の若者理解に役立つた」、「親自身も主体性を持つ必要性を痛感した」、「子を作つているのは親だなと改めて考えさせられた」、「今後の親子関係の参考にしたい」、「家に帰つてから家族と講演内容をシェアした」などの感想が寄せられ、後実施したアンケートでは、参加者の93.5%が

地区トピックス

東海地区

和7年度東海地区 高等学校PTA連合会「静岡大会」

静岡県公立高等学校PTA連合会

らは「応援隊活動」を開始し、自主的に参加していく会員にカードを配ったり、Instagramの活用やGoogleを使った情報共有などに取り組んだり、様々な工夫が報告されました。

ツールを活用している現状と今後の課題などが報告されました。両校の発表からは、現代のPTA活動がデジタル技術を取り入れて進化している様子が伺えました。

も「失敗してもよい」環境が不足しているのではと講師は指摘し、若者だけの問題ではなく、大人世代もしつかり自分たちの社会の特徴を捉えるよう強調されました。講演後実施したアンケートで、参加者の3・5%が

地区トピックス

近畿地区

兵庫県公立高等学校PTA連合会

第50回近畿地区高等学校PTA連合会大会兵庫大会の報告



第50回近畿地区高等学校PTA連合会大会兵庫大会が、世界文化遺産である姫路市で令和7年7月13日（日）、アクリエーションショーセンター（姫路市文化コンベンションセンター）を会場に、近畿各府県市から700名を超える会員の現地参加と、56校のオンライン参加により盛大に開催されました。

「これから時代へ思いやり、支えあい、互いに感謝」を大会テーマに、知りたいことが一瞬

7月13日（日）、アクリエーションショーセンター（姫路市文化コンベンションセンター）を会場に、近畿各府県市から700名を超える会員の現地参加と、56校のオンライン参加により盛大に開催されました。

オーブニングでは兵庫県立姫路東高等学校邦楽部の演奏をBGMに県立農業高等学校園芸科フーラワーアレンジメント班の生徒さんと県立北条高等学校華道部の生徒さんによる「花いけコラボレーション」をご披露し、各地の皆さまをお迎えしました。



透明で将来の予測が困難な時代「V U C A（ブイ・ユー・シー・エー）」時代であるかもしれません。その時代に、仕事をし、生活をしていくためには、人として相手を思いやり、また支えあい、互いに感謝の気持ちを持つことにより、乗り越えていけると思います。PTAにおきましても、これから時代を担っていく生徒たちが生きていく時代に向けて、どのように伝えていかなければなりません。兵庫大会では、あらためて皆様と語り合う大会にしたいと思います。兵庫大会で

兵庫県立姫路東高等学校邦楽部の演奏をBGMに県立農業高等学校園芸科フーラワーアレンジメント班の生徒さんと県立北条高等学校華道部の生徒さんによる「花いけコラボレーション」をご披露し、各地の皆さまをお迎えしました。

中川麻由大会実行委員長より未来の見えない時代にこそ、過去の歴史が示す通り、困難に直面しても柔軟に対応し、支え合いながら乗り越える力を育むことの重要性と、保護者や教育関係者は、今こそ子供たちをどのように導き、育むかを深く考える必要がある。という思いのこもった挨拶のあと、西岡豊全国高P連専務理事、藤原俊平兵庫県教育長、清元秀泰姫路市長の祝辞をいただきました。

続いて、令和6年度近畿地区高等学校広報紙コンクール表彰、功労者感謝状授与と開会行事が華やかに行われました。

休憩をはさみ、県立福崎高等学校・県立播磨福ドリン部と県立夢前高校地域アクトイブ類型の明神太鼓とのコラボ演奏を行い、繊細なマンドリン合奏の音色と力強い太鼓の響きで「ゆめさき清流

とコツ」～家庭でできる元気前川の穏やかな流れと、雷など天候の変化により流れが激しくなつて行く様子を太鼓を使って表現され、川の流れの変化を楽しんでいた

記念講演の前に、令和6年度兵庫県立豊岡高等学校PTA岡田正司会長から「踊ろう伝えよう豊岡おどり」～自ら考え、行動する豊高生を支えるPTA活動～と題して、

実践発表があり、新たな時代に応じたPTA活動の運営と工夫にという点でとても有意義な発表をいただきました。

記念講演では、「ヤル気と集中力を高める知恵

「主体性」とは「言われた通りに…と受け身で動くのではなく、目標や目的（ゴール）に合わせて自分の意思で動くこと」、人は暴力や圧力（威圧感）不安感の煽りや統制ではなく、「希望」が生まれたときこそ、本当に意味での「心」が動

いたしました。

記念講演では、「ヤル気と集中力を高める知恵

とコツ」～家庭でできる元気前川の穏やかな流れと、雷など天候の変化により流れが激しくなつて行く様子を太鼓を使って表現され、川の流れの変化を楽しんでいた

とコツ」～家庭でできる元気前川の穏やかな流れと、雷など天候の変化により流れが激しくなつて行く様子を太鼓を使って表現され、川の流れの変化を楽しんでいた

とコツ」～家庭でできる元気前川の穏やかな流れと、雷など天候の変化により流れが激しくなつて行く様子を太鼓を使って表現され、川の流れの変化を楽しんでいた

とコツ」～家庭でできる元気前川の穏やかな流れと、雷など天候の変化により流れが激しくなつて行く様子を太鼓を使って表現され、川の流れの変化を楽しんでいた

とが出来る。一人ひとりによつてそのきつかけは様々であるが、「希望」を与えるられるのは「人」でしかないこと。どんな人でも、誰しも驚くほどの能力が隠されていて、それを引き出すための第一歩は、暴力・圧力・不安感の煽りや統制でなき「希望」である

こと。さあみんなで「希望の光り」を放ちましよう。とご講演いただきました。

閉会式では、松本正直

大会実行副委員長から大会宣言が発表され、全会一致で採択を受けた後、次年度開催県の福田雄介

和歌山大会実行委員長の「近畿は！ひとつ！和

歌山市でお目にかかりましょう。」の言葉で大会が締めくくられました。

そして、安田明彦大会実行副委員長から閉会あいさつの後、それぞれの想いを胸に、参加者は会場を後にされました。

会場のアクリ工ひめじでは、オープニングの筝曲の演奏が始まる前か

ら、兵庫県の農水産関係高校の実習生産品がPTA会員や生徒たちによつて販売されました。多くの方にお買い上げいただき、大変喜ばれました。また、大会参加申込み、入場については、

前回の京都大会を参考にしてオンライン、ネットバンキング振込、2次元

バーコード発行で事務作業を大きく軽減する方式をとり、コンパクトな大会運営を実現することができました。

コロナ禍以降、ネガティブな状況下、今後のPTA活動について考え

るきっかけとなる大会をめざしましたが、参加いたいた会員の皆さまと

一堂に会する喜びと、同じ思いを志す決意を強く感じた中、無事終了いたしました。



地区トピックス

中国・四国地区

島根県高等学校PTA連合会

「神話の郷に集う縁」 ～新時代を生き抜く力を～

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会島根大会は7月11日

（金）に松江市くにびきメッセにおいて地区内の9県より約1,100人が参加し開催されました。

開会行事では最

初に島根県立松江高等学校の安部沙彩さんによる国歌独唱が行われ、その

原完次委員長は挨拶の中で、PTAは単なるボランティア団体ではないと強調しました。

記念講演は島根県を拠点に活動する日本屈指のメカニックデザイナー山根公利氏を講師に招き、「ITから生まれる人の幸せとは何か?」をテーマに行われました。

その後、来賓の石原恵利子島根県副知事、および藤原亮彦松江市副市長よりご祝辞をいただきました。

原完次委員長は挨拶の中で、PTAは単なるボランティア団体でない知識や技術を持ち

寄り、共に考え、学び、行動する姿勢こそが最も大切な役割だと訴えました。

記念講演は島根県を拠点に活動する日本屈指のメカニックデザイナー山根公利氏を講師に招き、「ITから生まれる人の幸せとは何か?」をテーマに行われました。

その中で日本のコンテンツ産業の急成長を背景にIT全盛時代における自身のキャリアと幸福論を展開されました。山根氏はSF映画が描くディ

ストピア的な未来とは一線を画し、人類はITと一緒にを生み出す原動力となり、その個性的なデザインは国内外で高く評価されています。自身の経験から、クリエイターには苦労を厭わないほど



記念講演 山根公利 氏

の「好き」と情熱が必要だと強調。A-I技術について、A-Iが高度な絵を描けるようになつても著作権や信頼性の問題から全てを代替するには至つてない」と指摘。クリエイターの真価はその人の育つた環境や文化から来る個性と想像力にあり、これがA-I時代における差別化要因になると説かれました。情報過多な現代においてITやAIとは「ほどよく利用して付き合う」ことが重要であると提言。情報が少ないと想像力」そしてSNSに依存せず「現実の身近な幸せ」を大切にすることが「IT全盛時代を生き抜く真の幸福感につながる」と締めくられました。

午後からは島根県の3校の高校生による活動発表が行われました。島根県立浜田商業高校郷土芸能部の石見神楽「大蛇」、松江市立皆美が丘女子高校ダンス部の「MGD Dance Performance」、島根県立出雲農林高校出農

県立江津工業高校からは「デジファブ作品の小物等」、島根県立浜田水産高校からは「サバ味付け缶詰・マグロ油漬け缶詰等」が出品され、全て完売となりました。参加者からは「自分たちの生み出したものを誇りを持つて販売されている姿に同じ年齢の子を持つ親としてとても嬉しくなりました」という感想がありました。

昼食時には島根県の高校生の活動にPTA会員が理解を深める機会とすることを目的に「高校生の物産販売」が行われました。島根県立松江工業高校からは「イライラ棒ミニ（キット）」島根県立松江農林高校からは「イチゴジャム、マーマレードジャム等」、島根県立江津工業高校からは「デジファブ作品の小物等」、島根県立浜田水産高校からは「サバ味付け缶詰・マグロ油漬け缶詰等」が出品され、全て完売となりました。参加者からは「自分たちの生み出したものを誇りを持つて販売されている姿に同じ年齢の子を持つ親としてとても嬉しくなりました」という感想がありました。

その後、3つの高校の代表者により、各校のPTA活動について発表が行われました。岡山県からは金光学園中学・高校やつなみ保護者会藤井秀和会長より「子とともに育つ」、金光学園や愛媛県立今治東中等教育学校PTAピアース恵利会長より「生徒の夢を支えるPTAの役割」、教職員との連携による6年間の教育支援」と、島根県からは



▶金光学園中学・高等学校やつなみ保護者会の発表



▶今治東中等教育学校PTAの発表



▶隠岐高校PTAの発表

太鼓部の「疾風迅雷・新七兵衛太鼓」の発表が行われ、迫力満点で生き生きとした演奏やパフォーマンスをしている高校生の姿に観客は圧倒されました。島根県立松江工業高校からは「イライラ棒ミニ（キット）」島根県立松江農林高校からは「イチゴジャム、マーマレードジャム等」、島根県立江津工業高校からは「デジファブ作品の小物等」、島根県立浜田水産高校からは「サバ味付け缶詰・マグロ油漬け缶詰等」が出品され、全て完売となりました。参加者からは「自分たちの生み出したものを誇りを持つて販売されている姿に同じ年齢の子を持つ親としてとても嬉しくなりました」という感想がありました。

閉会行事では、来年の開催地である香川県のPRビデオが上映され、大会が終了しました。大会当日のアンケートでは、大会全体を通じて、「非常に勉強になつた」「参加してよかったです」「来年の大会にもぜひ参加したい」といったご意見が多数寄せられました。また、閉会時の見送りで



香川県高P連の杉本勝利会長が次期大会への参加を呼びかけました。続いて、原完次委員長が閉会の挨拶を行い、その中で「大会参加者が今回の学びが行われ、活発な意見交換が行われました。参加者からは「活動者同士のコラボレーションや子供の学びを様々な形で支援する工夫された意欲的な取り組みがなされており、とても参考になつた」という感想があり、大変有意義な研究協議となりました。

大会当日のアンケートでは、大会全体を通じて、「非常に勉強になつた」「参加してよかったです」「来年の大会にもぜひ参加したい」といったご意見が多数寄せられました。また、閉会時の見送りで

と書いて手を振る参加者グループも見受けられました。本大会は、PTAの挨拶を行い、その中で「大会参加者が今回の学びが行われ、活発な意見交換が行われました。参加者からは「活動者同士のコラボレーションや子供の学びを様々な形で支援する工夫された意欲的な取り組みがなされており、とても参考になつた」という感想があり、大変有意義な研究協議となりました。

ために何ができるのかを改めて深く考える貴重な機会となりました。

地区トピックス

九州地区

佐賀県高等学校PTA連合会

『語やびう』 沖縄大会

『語やびら』かたろう 未来を担う子ども達のために

第69回九州地区高等学校PTA連合会大会『語やびら』沖縄大会は、6月19日(木)・20日(金)の2日間、那覇市内のホテルと宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催されました。2日間とも天気に恵まれ、沖縄らしい汗ばむ陽気となりました。

検証、保護者への問題点（マナー）の周知、時代が変化していく中で、新たなトラブルの検証について

動報告が4県よりあります

第2分科会「進路指導と PTA活動」

（進路対策委員会）
検索ワード集の作成。
会員が活用できるよう、
その情報を伝える方法や
工夫について

第1日目は、ホテルコレクティブにおいて、九州高P連4委員会、理事会・総会が開催されました。

引継ぎ事項の確認をし、
本年度は、以下のことに
ついて協議、取組むこと
としました。

（総務委員会）

生徒数減少や授業料無
償化に伴う予算、会則の
見直しについて

第1分科会「青少年の健全育成とPTA活動」 生徒・学校・地域に合わせ、工夫を凝らした活

課題の報告、地域、保護



アトラクション
〈沖縄県立前原高等学校
空手道部〉



全体会



記念講演では、琉球学教授の上間陽子先生から「沖縄の貧困とトトウマ～10代のママたんの施設おにわの事例」ら」という演題で講演がありました。子どもの



権利を守り、トラウマケアを実践するための具体的な方法と課題を提示するものであり、私たちに深い問い合わせた。内容でした。



第75回全国高等学校PTA連合会大会 2026大分大会のご案内



【大会テーマ】

湯ごころ 真ごころ 親ごころ
～輝く未来を切り開け～



【大会趣旨】

1947年(S22年)3月、文部省がPTA結成の手引書を作成し、全国知事あてに次官名で送達されて、戦後のPTAはスタートしました。それから79年、社会は大きく変化し続けています。それは、私たちが高校生のころと今を比べてみると一目瞭然です。

社会に存在するあらゆる仕組みは、その変化に対応した進化ができなければ消えていく運命にあることは理解いただけます。では、PTA活動はどうでしょう。

単Pにしろ、地区組織にしろ、都道府県にしろ、全国組織にしろ、大きな社会変化に合わせた進化ができるのでしょうか。そしてその進化は、私たちの活動の主たる対象である高校生たちに受け入れられ、支持されているのでしょうか。

高校生たちは、IT技術の進化によるドラスティックな産業構造、地球沸騰化による突発的な水害や地震などの自然災害、新型コロナウィルスなどの感染症の世界的な流行など、不確実で複雑・不透明で曖昧な「VUCA時代」の中で、今も、これからも生き抜いていきます。

その高校生たちを、あらゆる面でサポートすることを目的としているPTAが高校生の取り巻く環境を理解し、高校生の求めるところを知ることは必須ではないでしょうか。

そういった観点から、新しいPTA活動の在り方を、この大会を通して考えていただけたらと思います。

「湯ごころ 真ごころ 親ごころ」～輝く未来を切り開け～のテーマのもとに開催される大分大会では、私たち保護者が、温かい心と真心をもって、希望の持てる未来社会へのビジョンを持ち主体的に行動し、家庭や学校、地域と一緒に、子どもたちの未来を切り開くために教育改革を進める学校を後押しできるよう、皆様方と一緒に様々な角度から考えていきたいと考えます。新時代の教育とは、まず私たち保護者が始めることであり、それが地域社会、わが国そして世界の発展につながるものと信じます。

ここ大分の地で、全国のPTA会員が一堂に会し、輝く未来を切り開くため、共に一步前に踏み出しましょう。

【大会日程】

8月20日(木) 大会1日目		
分科会(開会行事・記念講演)		
受付	① 受付	11:30~13:30
	② アトラクション	13:00~
分科会	③ 開会行事	13:30~13:50
	④ 基調講演	14:00~15:00
	⑤ パネルディスカッション	15:15~16:30
	⑥ 閉会行事	16:30~

第1分科会	PTA活動・教育	「PTAの役割と未来」～今こそ、考えてみようPTA活動の意義～	別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)
第2分科会	進路指導	「大学入試と非認知能力」～変化の激しい時代にどう対応するか～	
第3分科会	国際教育	「ダイバーシティの力」～多様性の中ではぐくむ地域・人材・未来～	立命館アジア太平洋大学(APU)
第4分科会	防災教育	「災害から護る力」～自分・家族・地域を護る防災教育～	J:COM ホルトホール大分
第5分科会	生徒指導・教育相談	「不登校は心のメンテナンス！」～大人が子どもたちから謙虚に学ぶ、傾聴～	iichiko総合文化センター

8月21日(金) 大会2日目		
全体会(開会式・記念講演・閉会式)		
受付	① 受付	8:00~
	② アトラクション	9:00~
全体会	③ 開会式・表彰式	9:30~10:30
	④ 記念講演 講師 内川 聖一 演題 「夢が導く諦めない気持ち」	10:40~11:50
	⑤ 閉会式	12:00~12:30

【大会ポスター】



【ホームページへのリンク】

<https://pta2026-oita.jp/> または



全国高等学校PTA連合会賠償責任補償制度のお知らせ
あなたの学校も加入しませんか？ 全国加盟高校の2校に1校が加入しています。

掛け金**年間400円（保険料391円+制度維持費9円）×生徒数**

※補償開始日が令和7年4月1日の場合。 補償期間中の加入については、月ごとに掛け金が減額となります。

補償期間

令和7年4月1日～令和8年4月1日

補償の範囲と支払済高額事故事例

<生徒もしくはPTAに過失があった場合が対象となります>

補償の範囲	支払限度額			免責金額（自己負担額）	事故発生件数割合	
1. 生徒の行為に起因する賠償責任 (生徒個人およびその親権者等の法定監督義務者)	対人・対物 合算	1事故につき	1億円	1事故につき 5千円	99%超	
2. PTA活動の遂行に起因する賠償責任 (PTAの賠償責任)	対人・対物			対人・対物 それぞれ 1事故につき 1千円	1%未満	
	対人	1名につき	5千万円			
		1事故につき	5億円			
	対物	1事故につき	5千万円			
	保管物	加害者1名につき 保険期間中	10万円 500万円	1事故につき 5千円		
年度	支払額	事故内容				
平成19年度	8,791万円	無灯火の自転車で歩道を走行中、後ろから人に追突し転倒させ、脳挫傷により要介護状態となり、死亡させた。【過去最高支払額】				
平成24年度	2,246万円	プライベートで外出中、自転車同士の接触事故。相手方脳挫傷となり、5か月後に死亡させた。				
令和元年度	4,754万円	自転車走行中、対向の歩行者を見て右に避けたところ相手歩行者も同じ方向に避け衝突し、相手方死亡。				

詳しくは、「全国高P連賠償責任補償制度」手引き・パンフレット・チラシをご覧ください。
(各学校へ1月下旬にお送りしています。)

●制度についてのお問い合わせ窓口

AIG AIG損保
一般社団法人 全国高等学校PTA連合会後援
AIG高校生外交官プログラム
(参加費無料)
<https://www.highschooldiplomats.org>

「育てたいのは、
子どもたちの未来。」

私たちAIG高校生外交官プログラムを協賛しています。

AIG損害保険株式会社

●引受保険会社

引受幹事保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
(担当: 公務第二部 文教公務室)
共同引受保険会社 AIG損害保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社

TEL.0120-889-980

MS&AD 三井住友海上

安心のゴールキーパーでありたい。

GK
クルマの保険

すまいの保険

ケガの保険

いついかなる時も、
いちばんそばに。

TOKIO MARINE NICHIDO
東京海上日動

特設サイト公開中!
<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/itsu-ichi/>

SOMPO
その声を安心に変えて。

補償範囲を見直してほしいといつりタスク。
規約がわかりづらいといった、ご指摘。
毎日、お客様一人ひとりの声に全力で耳を傾ける。
毎日、いただいた声を元に保険を見直し続ける。
そうやって、私たちが向き合っているのは、
目の前のお客様の安心だけではなく、
未来のお客さまの安心もある。
これからも、ずっと。
お客様の声に向き合い、進化をつづけていく。

**SOMPO
損害保険ジャパン**

▼特設サイトはこちら
 [特設サイト](#)

こちらのご案内はPTA賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「全高P連賠償責任補償制度」のチラシ・パンフレットをご覧ください。詳細は各学校へお渡ししてあります「全高P連賠償責任補償制度」の手引き記載の保険約款によりますが、ご不明の点がありましたら引受幹事保険会社までお問い合わせください。